

# 再編 学校

がっこうがへん

## 鹿角市立花輪北小学校

今年度をもって、「花輪北小学校」と「平元小学校」が統合し、4月から「柴平小学校」として新たに歩み始めます。  
 本特集では、花輪北小学校と平元小学校のこれまでの歩みと、統合に関わる両校の児童の想いを紹介します。

## 学校規模を適正化し 教育環境の充実を図る

少子化に伴う児童生徒数の減少により、\*複式学級の増加など、集団の規模が小さくなること、きめ細かな指導や児童生徒の個別の活動機会を設定しやすい利点がある一方で、集団教育の良さが生かされにくくなるとともに、教職員配置数の減少などに、適正な学校運営や児童生徒への指導が難しくなります。

市では、児童生徒にとって望ましい教育環境を整備し、教育の充実を図るためには、国が定める標準的な学校規模に近づけることが重要と考え、平成28年度からの学校等再編計画を進めてきました。今年度をもって本計画に基づく再編は終了しますが、環境が大きく変わる児童生徒への配慮や、地域・保護者との話し合いを大切にしながら、学校行事で切磋琢磨する機会を作り出し、確かな学力と、社会の中でたくましく生き抜く力を身に付けた子どもたちを育てていきます。

\*複式学級：2つ以上の学年をまとめた学級

☎ 総務学事課 総務班  
30・0290

## 鹿角市立平元小学校

# 歩



全国花だんコンクールで優良賞を受賞



全校児童で体力づくり



昭和41年トラクターでの通学



昭和56年男子リレーチーム



平成11年アップル活動でお世話になった故・児玉精太郎氏

花輪北小学校は、昭和42年に柴内小学校と下川原小学校が統合し誕生しました。昭和43年には校舎が完成し、現在の校舎での授業がスタートしました。

昭和61年には、秋田県花だんコンクールで優良賞を受賞し、それ以降、学校花だんづくりに力を入れてきました。平成5年には、全国花だんコンクールで優良賞を受賞し、15年には、全国花いっぱいコンクールで優秀賞、16年には、同コンクールで優良賞を受賞しています。

部活動では、陸上競技や相撲が盛んで、全国大会への出場経験があり、全国に「花輪北」の名を刻み続けました。また、スクールバンド部の活動も盛んで、これまで秋田県アンサンブルコンテストで数々の入賞を果たしています。

また、地域の方々の協力のもと、田植えや稲刈り、りんごや桃の栽培などの農業体験を授業に取り入れ、地域への愛着を醸成してきました。

花輪北小学校は、地域や保護者に支えられ、「北っ子魂」を54年間にわたり脈々と磨き続けてきました。これまでに2848人の北っ子が花輪北小学校から巣立っています。

平元小学校は、明治8年に小枝指にある隆昌寺の一部を借りて設立されました。その後、毛馬内小学校や花輪北小学校の分教場、平元簡易小学校、平元尋常小学校と改称され、明治40年に現在の位置に移転しました。以降は、平元国民学校と改称され、昭和22年に平元小学校となり、今に至ります。

昭和54年には新校舎が完成し、現在の校舎での授業がスタートしました。  
 昭和56年に行われた鹿角小学校陸上競技大会では、男子400mリレーで初優勝を果たし、その記録54秒8は、いまだに破られていない大会記録です。

運動会は、平元地区コミュニティ推進員会と学校とが合同で開催し、46年間続けられ、地域と学校が協働する活力となりました。

平成11年からは、「アップル活動」が行われ、りんご栽培を一年を通して学習する活動が展開されました。この活動は今まで22年間続けられました。  
 平元小学校は、地域に根ざした学校として145年間の歴史を刻み、これまでに4610人の児童が平元小学校から巣立っています。

伝統の丘の建立



縄なり集会



北限の桃を収穫

校舎外観



秋田県アンサンブルコンテストで金賞を受賞

昭和29年創立80周年記念運動会



現在の校舎外観



平成17年花輪サービシエリアでのりんご販売

